

## 令和5年度の水道事業決算

はじめに

### 1 水道事業の会計のしくみ

水道事業は、利用者の皆様からいただいた水道料金で事業を行う「独立採算制」で経営を行っており、地方公営企業法に基づき、地方公共団体が経営する企業として運営されております。水道事業の会計は、「収益的収支」と「資本的収支」に分けて経理することになっております。

#### ①収益的収支（経営活動に伴う収支）

収入：水道料金など

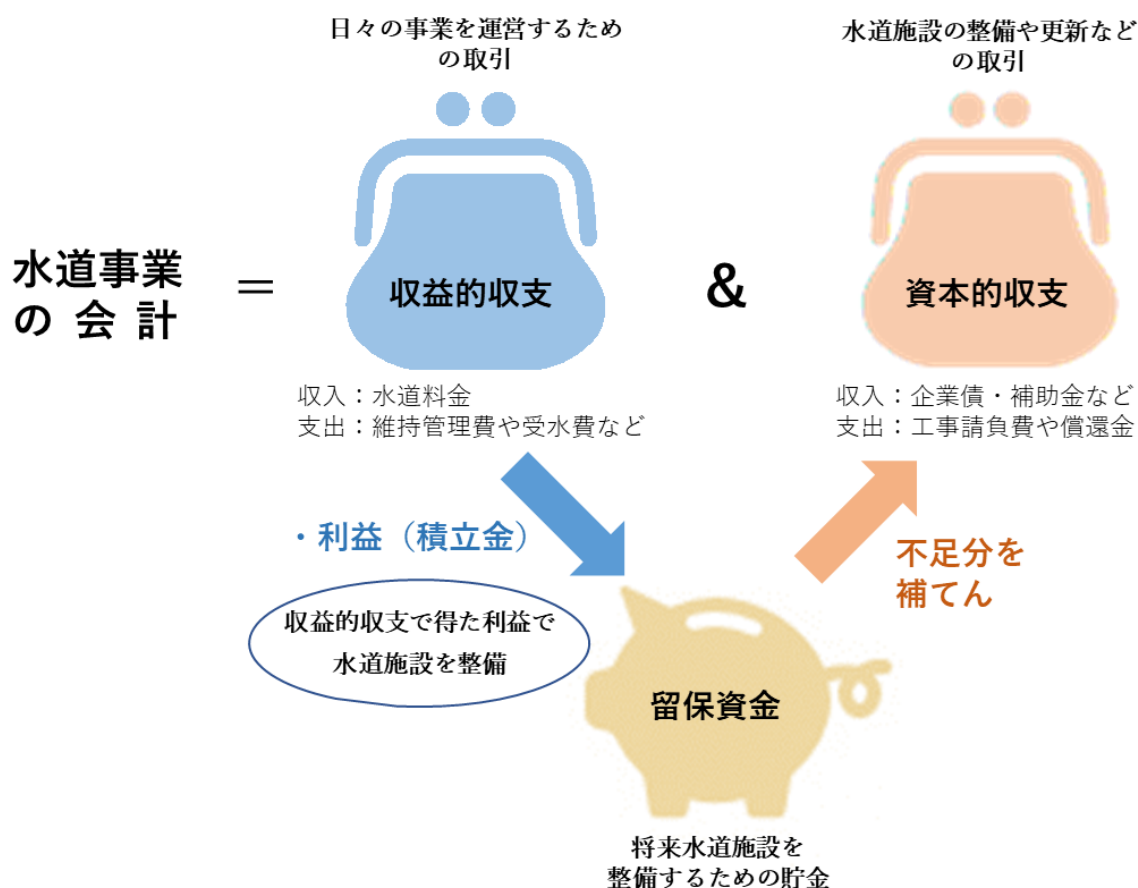
支出：県営村山広域水道から水を買う費用、人件費や電気代、修繕費など事業運営に係る費用、減価償却費、償還金利息等

#### ②資本的収支（施設の整備等に伴う収支）

収入：補助金、借入金など

支出：工事請負費（新設改築など）改良施設を新しくつくったり、大きく改修したりする費用 等

の2つに分かれています。



また、「収益的収支」で得た利益を資金として、水道施設の整備を「資本的収支」を通して行うというのが、水道事業経営の基本的な仕組みとなっております。

## 2 令和5年度の水道事業会計決算

公営企業会計は、民間企業のように複式簿記を使って、取引の記録を行います。

その取引の記録を集計し、取りまとめ報告するものが決算書になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状態について損益計算書(PL)、貸借対照表(BS)、キャッシュ・フロー計算書(CF)の財務三表などの決算書類で表しています。

### ①損益計算書

損益計算書とは、1年間の収入(収益)と支出(費用)を表したものです。

これによりどういう経営活動で、どれだけの経営成績を上げたのかを知ることができます。

### ②貸借対照表

貸借対照表は、年度末時点に企業が保有するすべての資産、負債、資本を表す報告書です。

「資産の部」からは、企業が事業を行うために所有する資産の残高を知ることができます。

### ③キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金・預金の増減とその理由を表す報告書です。

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」を知ることができます。

## 3 水道事業の概況

### ① 水道の給水件数

| 項目      | 令和5年度   | 令和4年度   | 前年度からの増減 |
|---------|---------|---------|----------|
| 給水戸数(戸) | 6,167戸  | 6,176戸  | ▲9戸      |
| 給水人口(人) | 16,901人 | 17,215人 | ▲314人    |

### ② 水道水の使用量

| 項目                    | 令和5年度                    | 令和4年度                    | 前年度からの増減               |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 有収水量(m <sup>3</sup> ) | 1,875,062 m <sup>3</sup> | 1,927,364 m <sup>3</sup> | ▲52,302 m <sup>3</sup> |

### ③ 令和5年度決算の特徴

#### (1)営業収益の給水収益(水道料金)の減少

(税抜き)

| 項目         | 令和5年度     | 令和4年度   | 前年度からの増減 |
|------------|-----------|---------|----------|
| 水道料金(給水収益) | 3億9,357万円 | 4億296万円 | ▲939万円   |

人口減少及び節水機器普及などの影響により収益減少が続いている。

#### (2)営業外収益の増加

(税抜き)

| 項目                  | 令和5年度   | 令和4年度 | 前年度からの増減 |
|---------------------|---------|-------|----------|
| 雑収益<br>(修繕引当金取り崩し等) | 2,040万円 | 217万円 | 1,823万円  |

修繕費用に充てるため修繕引当金を取り崩したもの。(財源が限られている。)

### (3)純利益

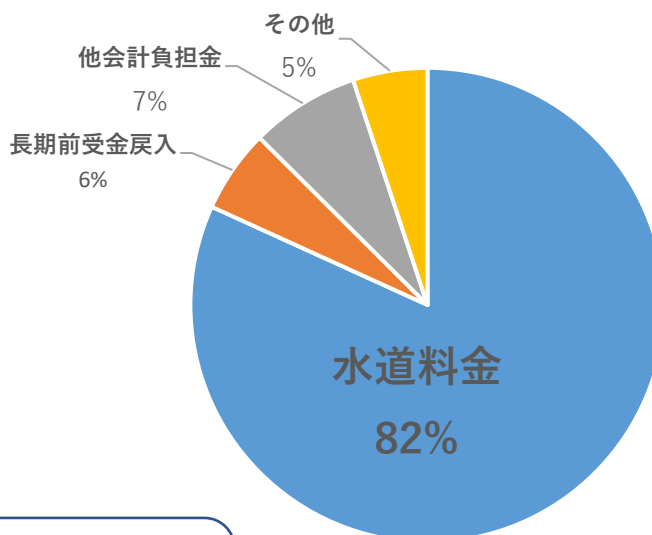
| 項目          | 令和 5 年度  | 令和 4 年度  | 前年度からの増減 |
|-------------|----------|----------|----------|
| 純利益(当年度純利益) | 3,164 万円 | 2,258 万円 | 906 万円   |

水道事業の1年間の儲けを「純利益」と言います。前年度と比べて906万円ほど増えています。主な要因は、人口減少による給水収益の減少や施設維持に要する費用が増加したものの、修繕引当金の取り崩しなど営業外収益が増加したためです。

### ④ 損益計算書の収益と費用について

#### (1)損益計算書（収益）（税抜）

| 項目      | 金額（円）       |
|---------|-------------|
| 水道料金収入  | 393,570,370 |
| 長期前受金戻入 | 27,277,585  |
| 他会計負担金  | 35,738,455  |
| その他     | 24,583,336  |
| 合計      | 481,169,746 |



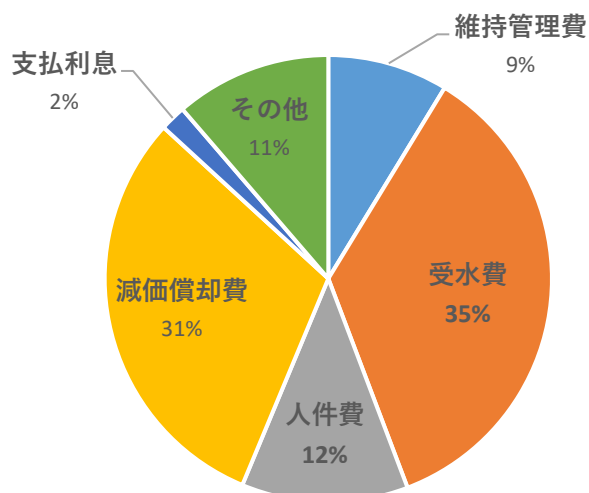
収入の内訳をみると、大部分が「水道料金」の収入であることがわかります。このことから、水道事業はみなさんが使用する「水道料金」によって成り立っていることがわかります。

「他会計負担金」は、本来それぞれの管理者が行うべき業務を水道事業が代わりに行うときに、その分の費用を負担していただくものです。主に、下水道使用料の徴収等業務や消火栓の維持管理に要する費用になります。

「長期前受戻入」は、後のページで説明します。

(2)損益計算書（費用） (税抜)

| 項目    | 金額（円）       |
|-------|-------------|
| 維持管理費 | 39,186,460  |
| 受水費   | 159,662,034 |
| 人件費   | 54,174,855  |
| 減価償却費 | 137,259,028 |
| 支払利息  | 8,386,685   |
| その他   | 50,863,502  |
| 合計    | 449,532,564 |



「維持管理費」は、水道施設の修繕費のほか、自己水源の動力費や薬品代などが含まれています。

河北町の水道水のほとんどは、山形県の村山広域水道に依存しているため、県から水道水を購入する費用が「受水費」になります。

「人件費」は、水道事業に従事する職員の給料等になります。（下水道事業の事務を兼務している職員の給料等には、下水道事業会計で負担すべき費用も含まれております。）

「減価償却費」は、「長期前受金戻入」と関連性がありますので、後でまとめて説明します。

「支払利息」は、水道施設を新たに整備更新するときに借り入れた金額の利息になります。

損益計算書の収益から費用を差し引くと・・・

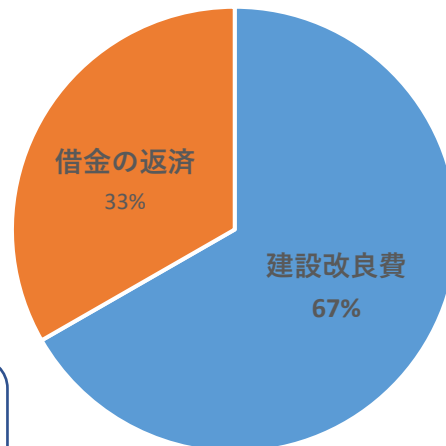
|                |             |
|----------------|-------------|
| 収入－支出＝純利益（純損失） | 31,637,182円 |
|----------------|-------------|

「収入」から「支出」を差し引いたものがプラスだと、「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼びます。このように、損益計算書からは、水道事業が「黒字」か「赤字」だったかということが分かります。

損益計算書は、1年間にかけた費用を載せるという決まりになっていますが、施設の整備や更新などの建設費は、その年に支払ったとしても、その施設をその後もずっと使い続けていくことから、そういった建設費は、その1年にかかった費用とは言えないので、損益計算書の「支出」には出てこない経理となっています。このような損益計算書に出てこない「支出」を「資本的支出」と言います。

「資本的支出」（損益計算書には載っていない支出）は、  
資本的支出 (税込)

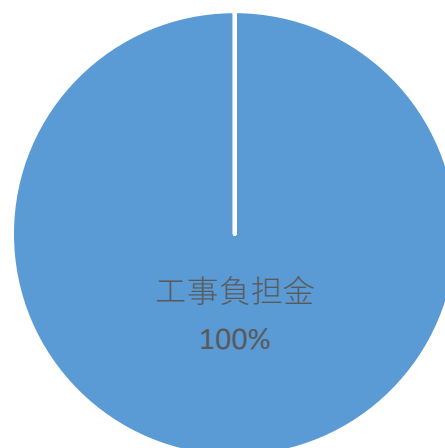
| 項目    | 金額 (円)      |
|-------|-------------|
| 建設改良費 | 114,260,647 |
| 借金の返済 | 57,024,339  |
| 合計    | 171,284,986 |



「建設改良費」は施設の整備や更新などの建設費になります。  
過去に建設するために借り入れた借金を返済する金額も損失計算書には載っていません。

「資本的収入」（損益計算書には載っていない収入）は、  
資本的収入 (税込)

| 項目    | 金額 (円)     |
|-------|------------|
| 工事負担金 | 27,833,300 |
| 合計    | 27,833,300 |



収入は「工事負担金」のみで、下水道工事で支障となる水道管を移設するために必要となる経費の負担金になります。

「資本的収入」から「資本的支出」を差し引くと・・・

|                    |               |
|--------------------|---------------|
| 資本的収入－資本的支出（施設の建設） | ▲143,451,686円 |
|--------------------|---------------|

約1億4,400万円の赤字？  
どうやって施設の建設をしているの？

この赤字分も損益計算書の「収入」で賄う必要があります。

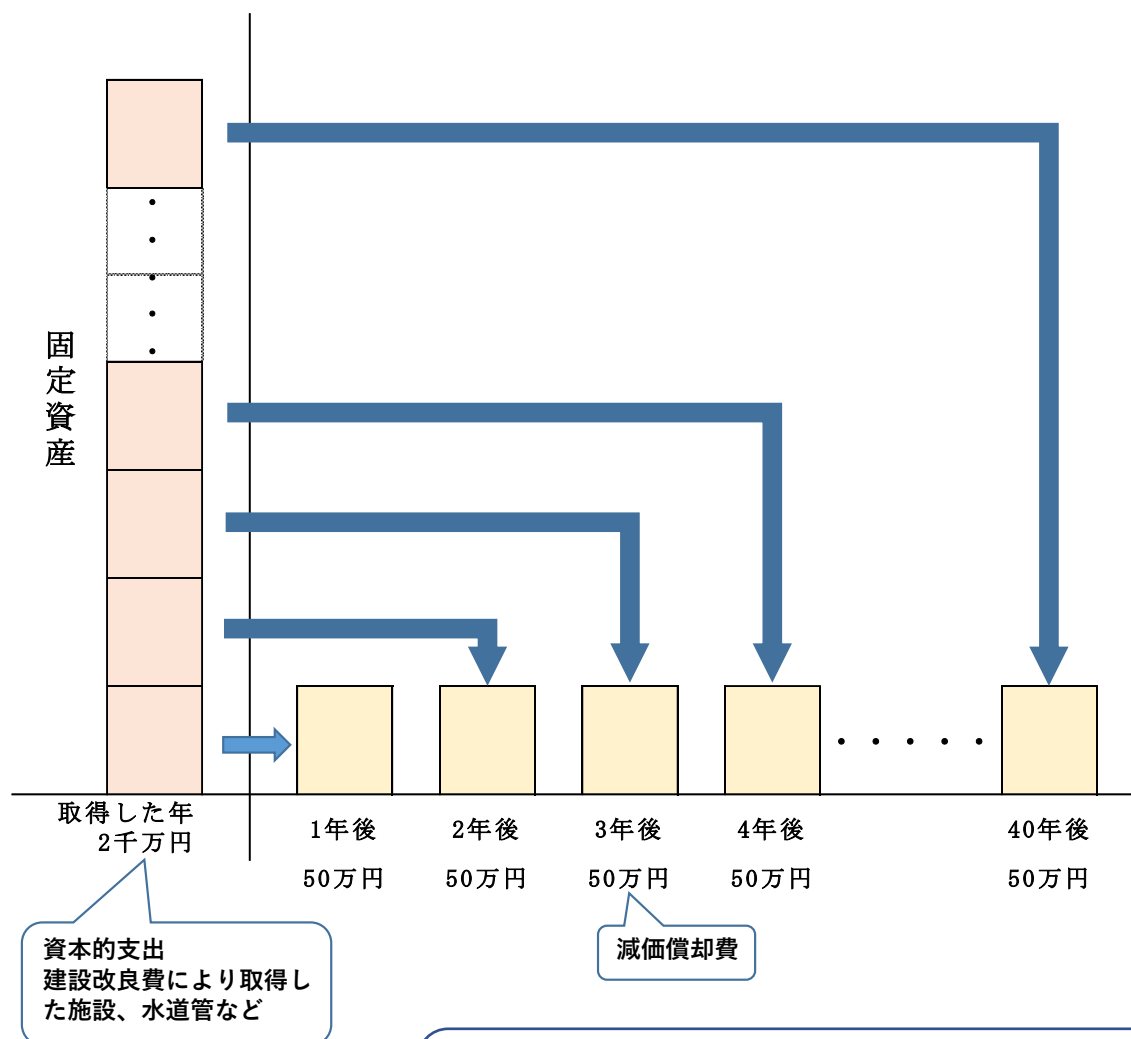
ここで注意しなければならないことは、「損益計算書の純利益」には、「減価償却費」や「長期前受金戻入」が計算に含まれていますが、これらは会計上の処理によるもので、**実際のお金の出入りが発生しないもの**になります。

施設の建設のために支払った資本的支出は、その施設がその年だけでなく施設のある限りずっと使えるので損益計算書には載せないことになっております。

その代わりに、**建設費用を施設が使える年数で割って、その施設の1年間分の費用として計算**することを「減価償却費」といいます。

「長期前受金戻入」は、「減価償却費」逆で、**施設の建設のときにもらった工事負担金や補助金などの収入をその施設が使える年数で割って1年分の収入として計算した**ものになります。

40年使える水道管を2千万円で建設した時の減価償却費イメージ



建設費 2 千万円を使える年数 40 年で割った 50 万円が毎年の減価償却費になります。  
長期前受戻入も「支出」か「収入」かの違いで考え方は同じです。

これが「資本的収入」－「資本的支出」の赤字とどんな関係があるのか？

「減価償却費」はその年にお金が使われていない費用になります。  
上の図で言うと、建設した年に 2 千万円は支払い済みなので、1 年後以降の 50 万円は実際にお金が出て行っていないことになります。  
損益計算書の純利益を計算するときは、水道料金などの収入から「減価償却費」を費用として差し引きますが、実際にはその分のお金が手元に残ることになります。

「減価償却費」分のお金はどうなるの？

実際には支払いがない「減価償却費」分のお金は、「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めるために使うことができます。

逆に「長期前受金戻入」は、過去に施設をつくった年にもらった「工事負担金」や「補助金」のうち今年度分を計上しているだけなので、実際にはお金が入ってこないで、この分は引かなければなりません。

純利益や「減価償却費－長期前受金戻入」のような「資本的収入－資本的支出」の赤字を埋めることができるお金のことを「**補てん財源**」といいます。

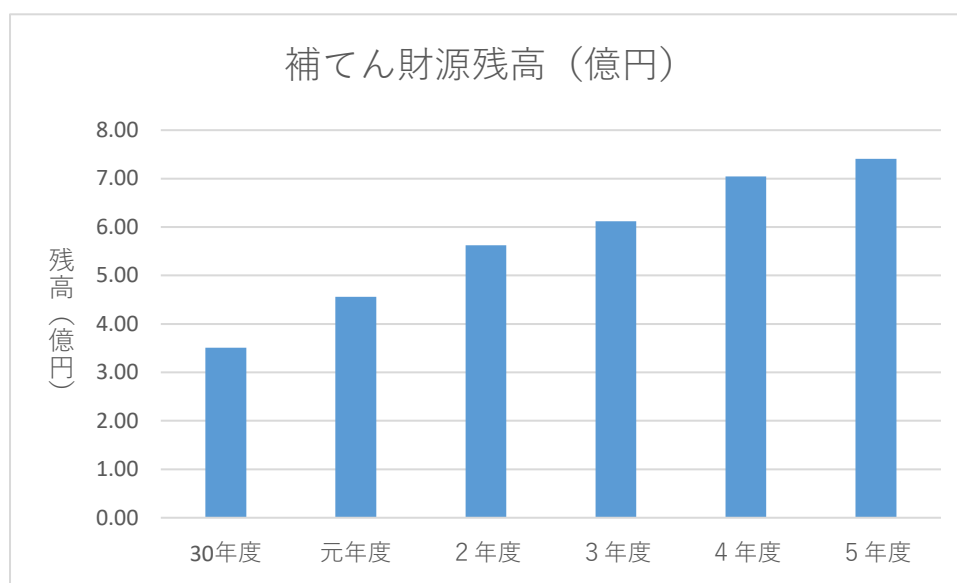
#### ここまでのまとめ

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は約1億4千300万円、損益計算書上の純利益（黒字額）は約3千200万円、損益計算書で支出に計上したが、手元に残っているお金（減価償却費分）は約1億3千700万円、損益計算書で収入に計上したが、使えないお金（長期前受金戻入分）は約2千700万円となります。

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| 資本的収入－資本的支出     | ▲143,451,686円 |
| 損益計算書上の純利益（黒字額） | +31,637,182円  |
| 減価償却費           | +137,259,028円 |
| 長期前受金戻入分        | ▲27,277,585円  |
|                 | ▲1,833,061円   |

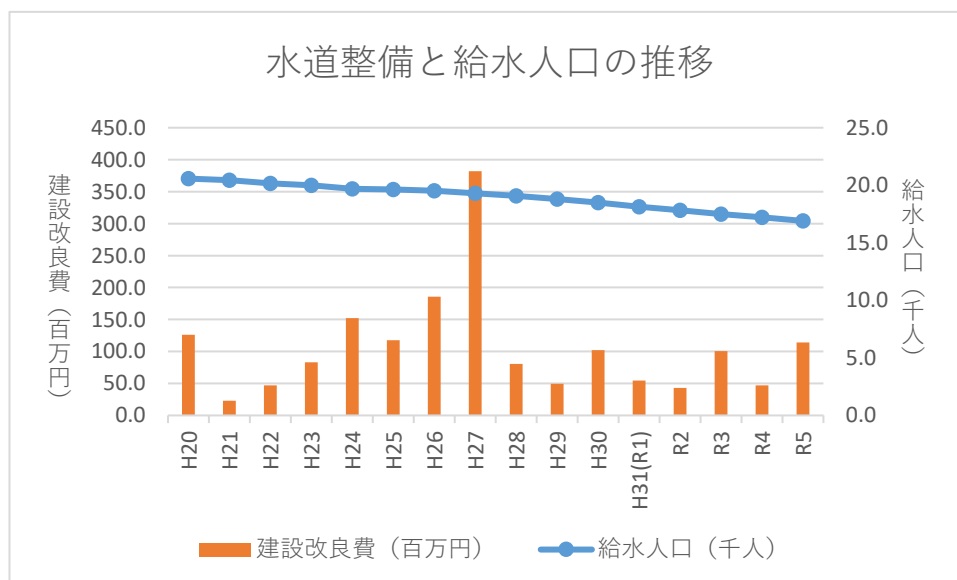
計算結果がマイナスになっているので、令和5年度の決算は約183万円、補てんする財源が不足していることになります。つまり、当年度の補てん財源だけではまかなうことができないので、その場合は、過去に貯めておいた補てん財源がありますので、そちらを使用して補てんします。

「補てん財源」はどれくらいあるの？



過去6年間の補てん財源残高の状況です。  
令和5年度末は約7億4千万円になっています。  
補てん財源は、今後水道管の老朽化に伴う更新工事  
や耐震化工事を行うための財源となります。

#### 4 水道事業の現況

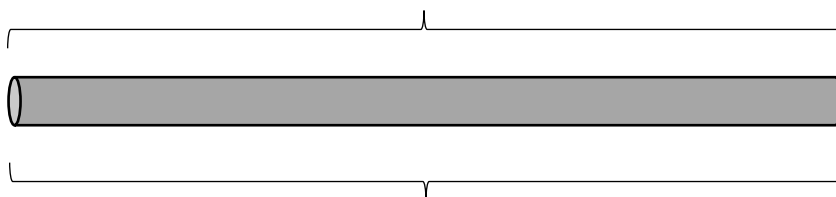


町内には約147kmもの水道管や2箇所の配水池、2箇所の水源施設などがあります。  
H20は弥勒寺配水池整備に係る配水管布設替工事。H24は弥勒寺自家発電施設整備。H26は湯野沢寒河江線配水管耐震化工事、治部橋水源地測量設計・用地買収。H27は治部橋水源地施設整備など、水道水を安定的に供給するため整備を進めてきています。

水道施設は整備して終わりではなく、古いまま放置してしまうと、水道管が破損してしまい、安定して水道水を送ることができなくなります。  
したがって、水道管の耐用年数や漏水など施設の状態を評価し、計画的に改築更新をする必要があります。  
ただし、それらの古い施設の改築や更新をするには、多額のお金が必要となります。

## 河北町の水道管更新に必要となる費用（概算）

約 147km（およそ「河北町」から「福島県郡山市」までの距離）

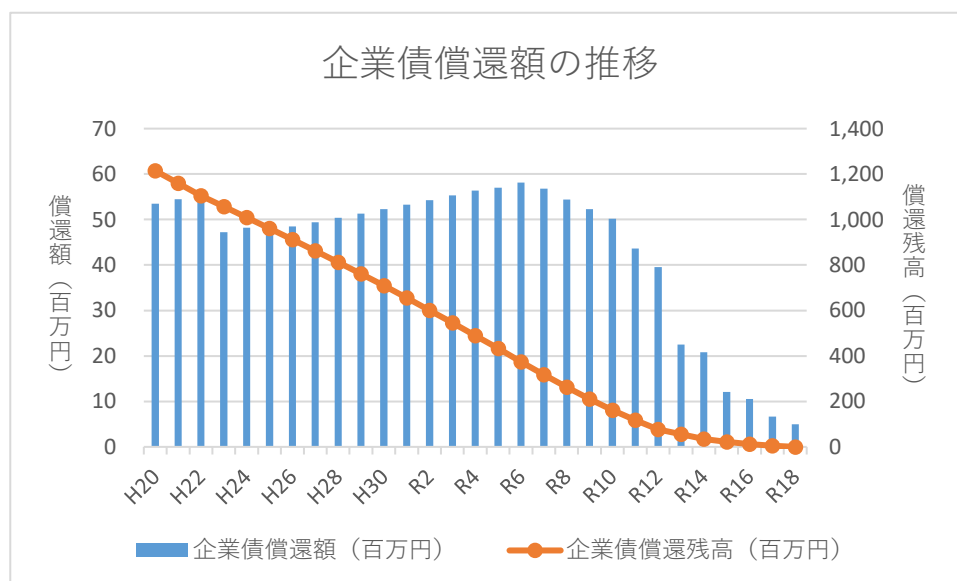


すべての更新に係る費用：約 162 億円（※）

（※）水道管の更新費用は 1 kmあたり 1 億 1 千万円（直近単価による）

仮に最新の水道管は約 100 年間使用することが可能といわれていることから、町の水道管延長 147 kmから逆算すると、将来的な目標として、1 年間で約 1.5 km更新が必要になります。  
単純計算で毎年の更新費用は、約 1 億 7 千万円必要となります。

## 企業債の償還額の推移



企業債は水道施設を整備するときに借りたお金（借金）になります。R6 年度が返済のピークで、以降返済額は減少していきます。

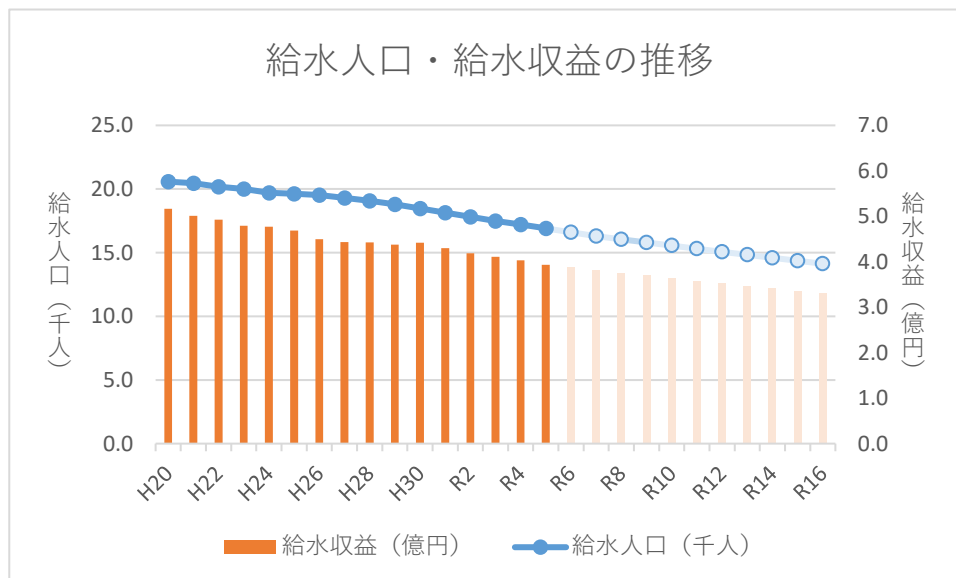
(1)管路経年変化率（耐用年数を超えた延長の割合）

| 令和 5 年度 | 令和 4 年度 | 増減    |
|---------|---------|-------|
| 37.0%   | 32.2%   | +4.8% |

(2)配水管耐震化率

| 令和 5 年度 | 令和 4 年度 | 増減   |
|---------|---------|------|
| 13.7%   | 13.3%   | 0.4% |

今後の給水人口・給水収益の推計



給水人口は平成 12 年度をピークに減少し続けており、今後も人口減少が見込まれています。水道水を使う人が減ってきていることや、節水機器の普及などによる使用水量の減少もあり、水道料金収入が減少していくことが見込まれています。

給水収益の 6 割を占める個人の水需要が、給水人口の減少（H20 年の 20,578 人に対し R5 年は 16,901 人で、3,677 人減少）や節水機器の普及などによる収益減少（H20 年の 5 億 1,700 万円に対し R5 年は 3 億 9,357 万円で、1 億 2,343 万円減少）が続き、極めて厳しい経営環境にあります。

水道は生活に欠かすことのできない重要なインフラです。水道施設の老朽化対策や耐震化などを進め、先人たちが築き上げてきた上水道施設を確実に次世代へ引き継ぐ必要があります。

## 5 財務三表の見方

### 損益計算書

ある一定の期間における企業の経営成績を明らかにするため、その期間中に得たすべての収益と費用を記載した報告書です。

#### 令和5年度河北町水道事業損益計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

|                |             |             |             |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 1 営業収益         |             |             |             |
| (1)給水収益        | 393,570,370 |             |             |
| (2)受託工事収益      | 2,975,000   |             |             |
| (3)その他の営業収益    | 36,824,813  | 433,370,183 |             |
| 2 営業費用         |             |             |             |
| (1)浄水及び配給水費    | 229,442,697 |             |             |
| (2)受託工事費       | 6,013,466   |             |             |
| (3)業務総係費       | 56,529,994  |             |             |
| (4)減価償却費       | 137,259,028 |             |             |
| (5)資産減耗費       | 9,742,310   |             |             |
| (6)その他の営業費用    | 0           | 438,987,495 |             |
| ① 営業利益（営業損失）   |             |             | △ 5,617,312 |
| 3 営業外収益        |             |             |             |
| (1)受取利息        | 123,103     |             |             |
| (2)長期前受金戻入益    | 27,277,585  |             |             |
| (3)雑収益         | 20,398,875  | 47,799,563  |             |
| 4 営業外費用        |             |             |             |
| (1)支払利息        | 8,386,685   |             |             |
| (2)雑支出         | 2,158,384   | 10,545,069  | 37,254,494  |
| ② 経常利益（経常損失）   |             |             | 31,637,182  |
| ③ 当年度純利益       |             |             | 31,637,182  |
| 当年度繰越利益剰余金     |             |             | 0           |
| その他未処分利益剰余金変動額 |             |             | 57,024,339  |
| 当年度未処分利益剰余金    |             |             | 88,661,521  |

①営業利益又は営業損失  
・本業による損益が分かります。  
水道事業の本業は、きれいな水をつくって、みなさんにお届けすることです。  
そのために必要な費用やみなさんからいただいた水道料金などの主な営業活動の結果を表しています

②経常利益又は経常損失  
・経営活動による損益が分かります。  
本業による損益に加え、国や県からの補助金、借入金利息の支払いなどの資金調達に關係する損益の結果を表しています

③当年度純利益又は当年度純損失  
・1年間のすべての損益の結果を表しています

3つの項目で  
経営結果を把握  
します。  
プラス「利益」  
マイナス「損失」

貸借対照表

年度末時点で企業が保有しているすべての資産、負債、資本を表す報告書です。

令和5年度河北町水道事業貸借対照表

(令和6年3月31日)

| 資産の部      |           | 金額 (円)        | 負債の部      |  | 金額 (円)        |
|-----------|-----------|---------------|-----------|--|---------------|
| 1固定資産     |           | 2,972,216,054 | 3固定負債     |  | 429,749,745   |
| (1)有形固定資産 |           | 2,971,906,654 | (1)企業債    |  | 374,442,054   |
|           | イ土地       | 63,878,463    | (2)引当金    |  | 55,307,691    |
|           | ロ建物       | 118,180,429   | 4流動負債     |  | 149,562,224   |
|           | ハ構築物      | 2,580,961,789 | (1)企業債    |  | 58,110,990    |
|           | ニ機械及び装置   | 160,785,762   | (2)引当金    |  | 3,998,000     |
|           | ホ量水器      | 28,335,729    | (3)未払金    |  | 85,091,165    |
|           | ヘ車両運搬具    | 834,304       | (4)前受金    |  | 18,986        |
|           | ト工具器具及び備品 | 8,651,088     | (5)預り金    |  | 2,343,083     |
|           | チ建設仮勘定    | 10,279,090    | (6)その他    |  | 0             |
| (2)無形固定資産 |           | 309,400       | 5繰延収益     |  | 518,051,935   |
| イ電話加入権    |           | 309,400       | (1)長期前受金  |  | 1,337,414,895 |
| 2流動資産     |           | 1,201,248,268 | (2)収益化累計額 |  | △ 819,362,960 |
| (1)現金預金   |           | 1,123,091,728 | 負債合計      |  | 1,097,363,904 |
| (2)未収金    |           | 77,817,370    | 資本の部      |  | 金額 (円)        |
| (3)貯蔵品    |           | 339,170       | 6資本金      |  | 2,641,486,815 |
| (4)その他    |           | 0             | 7剰余金      |  | 434,673,603   |
|           |           |               | (1)資本剰余金  |  | 34,692,719    |
|           |           |               | (2)利益剰余金  |  | 399,980,884   |
|           |           |               | 資本合計      |  | 3,076,160,418 |
| 資産合計      |           | 4,173,464,322 | 負債資本合計    |  | 4,173,524,322 |

負債は企業債（借金）が代表されるように他人に返す必要がある（支払い義務がある）お金です。

繰延収益は、資産をつくる際にもらった国や県からの補助金や工事負担金など、返す必要がないお金です。

資本は、資本金や事業で生み出してきた利益などで、返す必要がないお金です。

お金の使い道  
集めたお金が「どのような状態」で「どれだけ」あるかがわかります。

お金の集め方  
資産を得るためのお金を「どのように」集めたかがわかります。

ポイント①

流動比率（％）＝流動資産÷流動負債×100＝803.2％  
（令和4年度数値は1,141.7％）（参考：令和4年度類似団体数値429.5％）  
流動負債（1年以内に支払わなければならない負債）に対する流動資産（1年以内に現金化できる資産）の割合を示す指標で、どれくらい流動負債を流動資産で賄えることができているかが分かります。  
200％以上が理想的で、指標が高いほど経営が安定していると言えます。

ポイント②

有形固定資産減価償却率（％）＝有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産のうち償却対象資産×100＝56.2（％）  
（令和4年度数値は55.3％）（参考：令和4年度類似団体数値52.37％）  
有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表します。  
指標が高いほど資産の老朽度合いが高いと言えます。

キャッシュ・フロー計算書

対象年度中の現金の増減とその内容を示す報告書です。  
損益計算書や貸借対照表からは読み取りにくい「1年間の現金の流れ」を  
その理由と合わせて知ることができます。

令和5年度河北町水道事業キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位: 円)

|                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー      |                     |
| 当年度純利益                  | 31,637,182          |
| 非資金項目の調整                |                     |
| 減価償却費                   | 137,259,028         |
| 固定資産除却費                 | 4,512,310           |
| 固定資産売却益                 | 0                   |
| 修繕引当金の増・減(△)額           | △ 18,328,000        |
| 貸倒引当金の増・減(△)額           | 157,189             |
| 賞与引当金及び法定福利費引当金の増・減(△)額 | △ 598,000           |
| 長期前受金戻入益                | △ 27,277,585        |
| 営業活動による資産及び負債の増減        |                     |
| 未収金の増(△)・減額             | △ 1,945,274         |
| 貯蔵品の増(△)・減額             | △ 142,075           |
| 未払金の増・減(△)額             | 48,623,469          |
| 前受金の増・減(△)額             | △ 8,425             |
| その他の流動負債の増・減(△)額        | △ 1,375,906         |
| 営業活動以外の損益項目             |                     |
| 受取利息及び配当金(△)            | △ 123,103           |
| 支払利息及び企業債取扱諸税           | 8,386,685           |
| 小計                      | 180,777,495         |
| 利息及び配当金の受取額             | 123,103             |
| 利息及び企業債取扱諸税の支払額         | △ 8,386,685         |
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>172,513,913</b>  |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー      |                     |
| 建設改良費(△)                | △ 106,541,447       |
| 補助金等の収入                 | 0                   |
| 工事負担金による収入              | 27,833,300          |
| 固定資産の売却による収入            | 0                   |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>△ 78,708,147</b> |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー      |                     |
| 建設改良企業債の返済による支出(△)      | △ 57,024,339        |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> | <b>△ 57,024,339</b> |
| <b>キャッシュの増加額(1+2+3)</b> | <b>36,781,427</b>   |
| 5 キャッシュの期首残高            | 1,086,311,301       |
| 6 キャッシュの期末残高            | 1,123,092,728       |

ポイント①  
現金が増えているか、減っているかを確認します。  
その後、各項目の現金の増減を確認することで、その原因が分かります。

ポイント②  
水道事業を続けていくためには、本来の営業活動で得た水道料金で、水道水をみなさんのもとにお届けする水道管の維持管理・更新を行っていく必要があります。  
そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」がプラスになっていることが大原則となります。

ポイント③  
現在、多くの水道管等を更新しなければならぬ状態です。  
更新すれば必ずマイナスになりますが、その額の大きさに注目する必要があります。

ポイント④  
水道事業では、水道料金で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで、水道施設の更新を行います。  
「財務活動によるキャッシュ・フロー」は借入と返済による資金の増減を表し、借りの金額よりも返す金額の方が多ければマイナスに、返す金額よりも借りの金額が多ければプラスになります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は水道事業本来の営業活動で資金を稼げているかを示しています。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は水道施設の更新など設備投資にどれだけ資金を使ったか、また、その財源となった収入を示しています。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は借入金と返済額を示しています。